

センサー水栓取付方法

付属品



水栓本体



電源ユニット



皿ビス 4×30



フレキホース

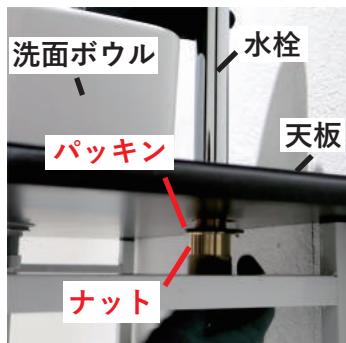


ガイド用パッキン

ナット、パッキン、フレキホースは付いた状態で出荷しております。

※水栓は商品出荷前に通水検査を行っているため、十分注意しておりますが、稀に水栓内、電源ユニット、フレキホースに水が残ってしまうことがあります、水栓や梱包が濡れてしまう場合がございます。

取付方法



手順1 水栓の固定

水栓取付穴に水栓を差込み付属のパッキン、ナットの順番に通してナットを締めて水栓を固定します。

水栓取付穴の径

INK-0305001H～010H/021H～025H の場合 : ϕ 28～35mm

INK-0305011H～020H の場合 : ϕ 35mm

手順2 電源ユニットの取付

電源ユニットの背中に付いているフックを外し、付属の皿ビスで壁に固定して電源ユニットを取付けます。

水栓に接続しているフレキホース 80cm

電源ユニットの電源コード 90cm

手順3 コネクターの接続

水栓側と電源ユニット側のコネクターを同じ色同士接続します。

※画像の様に隙間が無くなるまで差込んでください。

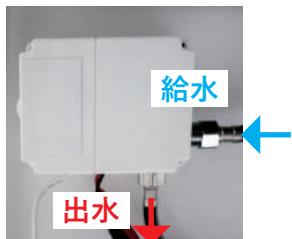
手順4 給電

電源ユニットの電源コードを繋げる。

もしくは、電源ユニット内の電池ホルダーに単三電池を4本入れます。

※給電は電源コード、単三電池のどちらか片方で行ってください。

同時に給電を行うと事故、故障の原因となります。



INK-0305001H ~ 10H
INK-0305021H ~ 25H のセンサー



INK-0305011H ~ 20H のセンサー

手順5 ホースの接続

電源ユニットの右側に給水（止水栓）のフレキホース、下側に水栓のフレキホースをモンキーレンチを使用して繋げます。

※付属のフレキホースの長さが足りない場合やご使用している止水栓との呼び径が合わない場合は別途フレキホースをご用意頂く必要がございます。



○正しい取付向き



✗ぶら下げた状態



✗手に持った状態

手順6 最終確認

止水栓を開けて水栓に手をかざして水が正常に出るか、漏水箇所が無いかを確認して取付完了です。

※水栓に水量を調節する機能が無いため、水量の調節は止水栓で行ってください。

水栓本体、電源ユニットに電気が流れているか確認する方法

- ・水栓に電気が流れている場合 → センサーに手をかざしてセンサーが赤く光る。
- ・電源ユニットに電気が流れている場合 → 電源ユニットからカチカチ音がなる。

※蓄電されている場合がありますのでコンセント、電池をつけていない状態でも一度は反応する場合がございます。

水が出ない、出続ける場合の対処方法

下記の方法で改善されない場合はお手数ですがお問い合わせください。

原 因	コネクター、コンセントが上手く接続されていない。
対 处	各接続が奥まで隙間無く刺さっているか確認する。
原 因	電池の向きが合っていない。
対 处	⊕⊖の向きを確認する。
原 因	電源ユニットの設置方法、向きに誤りがある。
対 处	手順5の電源ユニットの正しい向きで壁に取り付けて通水を行う。 (横向きやフックに取り付けずにぶら下げた状態だと作動しない場合がございます。)
原 因	元栓、止水栓が開いていない。
対 处	元栓、止水栓を開く。
原 因	水圧が強い。
対 处	止水栓で調節する
原 因	センサーの直線状に光が反射するものがある。
対 处	反射物を取り除く、水栓の向きを少し調節する。
原 因	センサー周りに水垢など汚れが付いている。
対 处	柔らかい布などで汚れを掃除する。